

府内へ広がる！環農水研究の大阪オリジナルブドウ

食と農の研究部 葡萄グループ



研究所育成品種

■背景と目的

大阪は有数のブドウ産地で、オリジナルブドウの育成が切望されています。
そこで、環農水研で育成した系統を品種登録し、府内に広げようということになりました。
ここでは普及に向けた取り組みのうち、(1) 品種特性とウイルスフリー苗木の供給体制、
(2) 省力的な栽培方法の確立、(3) 販売支援 についてご紹介します。

■事業の内容・今後の方向性

(1) 品種特性とウイルスフリー苗の供給体制

①2018年3月9日に品種登録された‘ポンタ’の特徴

- ◆種子親「巨峰」と花粉親「ブロンクスシードレス」の交配実生から選抜された3倍体の早生品種
- ◆果皮色は紅から黄のグラデーションがかかり、果粒は円形で7～8g程度
- ◆皮離れが良く、糖度は20度以上、酸含量は0.4g/100ml程度でフォクシーを基調とする甘い香りが特徴

②ウイルスフリー苗の供給体制



茎頂培養個体



ウイルスフリー母樹

- ◆熱処理茎頂培養によりウイルスフリー化を行い、ウイルスフリー母樹を作成しました。
- ◆2020年より大阪府内の生産者に限定して販売を開始します。

(2) 省力的な栽培方法の確立

栽培上の課題の一つ・・・

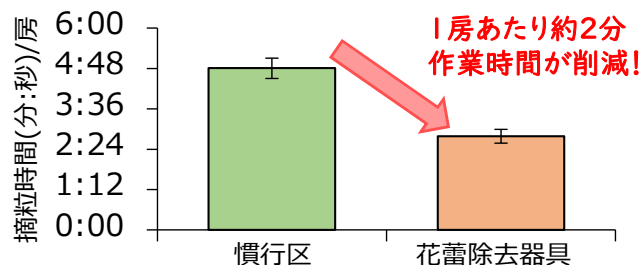
粒がたくさんつくため、摘粒作業に時間がかかります。



慣行の果房



花蕾除去器具を使用した果房



- ◆花穂整形前に花蕾除去器具を使うことで着粒が少なくなり、摘粒の省力化になりました。
- ◆ただし、花蕾が除去されすぎると粒ぞろいが悪く果房が小さくなるので、2～4回程度の使用を推奨しています。

(3) 販売支援

- ◆収穫期に府内ブドウ生産者を対象として栽培講習会を実施しました。 → 味がおいしいと好評!!
- ◆直売関係者、市場関係者を対象に聞き取りしました。 → 味がおいしいと好評!!
→ 外観的に直売向けとの助言(果皮色に課題)
- ◆多様な果皮色を生かした販売方法を模索しています。
果皮色が異なると風味も違う?
→「食べ比べてみたい」を想起、多様な嗜好の消費者に対応と考えています。



多様な果皮色の‘ポンタ’

風味のイメージ例



地方独立行政法人
大阪府立

環境農林水産総合研究所
Research Institute of Environment, Agriculture and Fisheries, Osaka Prefecture